

貧血管理システム構築とiPadの活用

幸善会 前田病院 腎センター¹⁾

幸善会 前田病院 検査室²⁾

○小林稔行(こばやし としゆき)¹⁾ 堀川浩平²⁾ 都知木康行¹⁾

七種博庸¹⁾ 前田利朗¹⁾

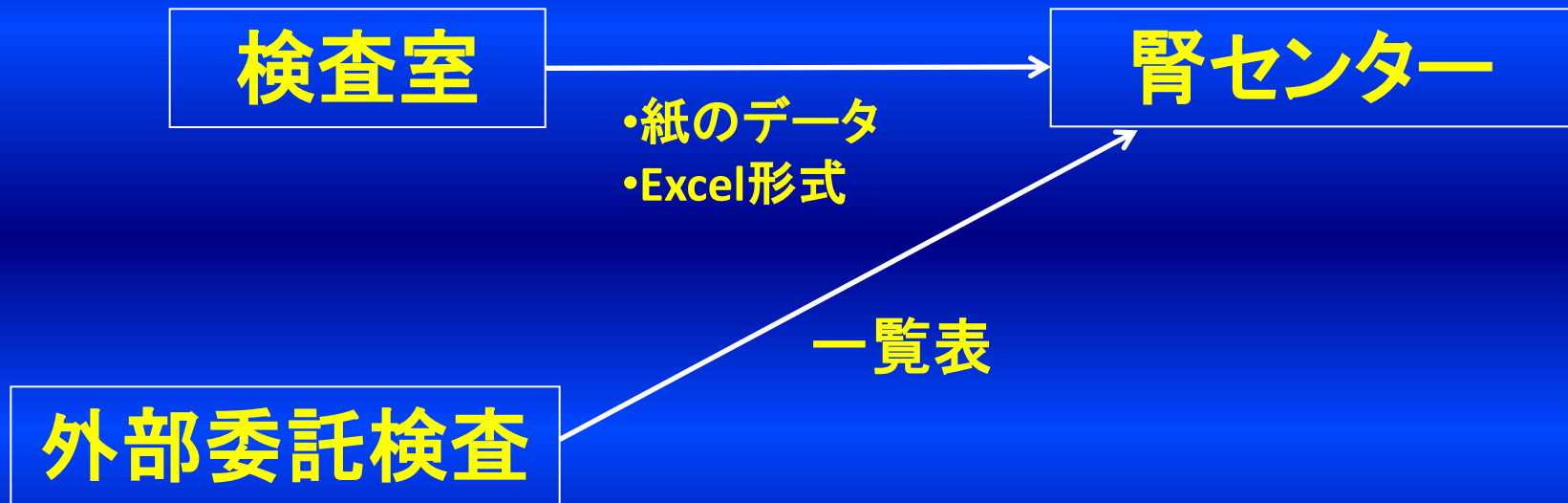
よりよい診療支援 業務改善



iPad導入前のESA製剤等投与管理システム

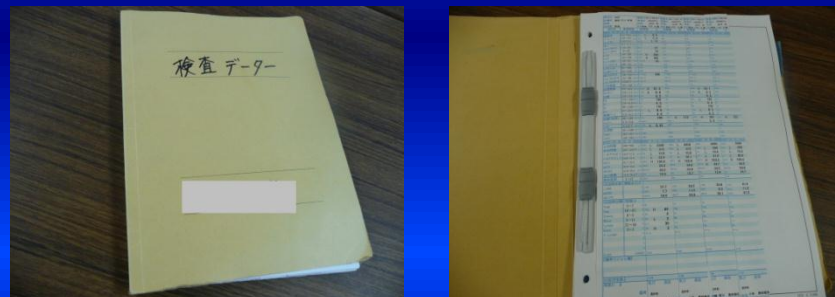


iPad導入前の血液データ管理システム



iPad導入前の血液データ保管方法

紙データ



Excel形式



血液データ

外注のデータ



特殊検査データ

従来システムの問題点

- 手入力のため入力ミスや転記ミス、データの貼り間違いがありました。
- 血液データの管理が複雑で手間がかかる。

新システムの概要

iPad2の操作



iPad2の操作



結果

- 薬剤投与の経過や血液データがグラフ化されたことにより、可視化データとしてベッドサイドで安易に閲覧できるようになった。
- 血液データの管理が簡素化され、業務改善になった。

考察

- iPadの活用は様々な医療現場において業務改善や診療支援に果たす役割は大きいと思われる。
- 当院全体のIT改革の架け橋となりうる。